

平成28年度に発足した、タウンプロモーション推進部ですが今年で4年目を迎えます。どんな活動をおこなっているのか、今までの実績を交えつつご紹介します。

今までの実績

タウンプロモーション推進部を通して移住された人達の数は年々増えており、発足当時から令和元年度8月現在まで、59名35世帯の人達が下川町に移り住まわれています。また近年、生き方や暮らし方が多様になる中で、都会から移住する人はもちろん、夏と冬で二つの地域を行ったり来たりする人や、季節問わずいくつかの居住地を転々とする暮らしをする人達のご相談も増えてきています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
移住者数	3人	11人	32人
相談件数	79人	374人	540人



「タノシモカフェ」について

毎月一回、一品持ち寄り形式でおこなっている「タノシモカフェ」。名前は聞いたことがあるけど参加したことがないという人や、移住してきた人しか参加できないのでは、と感じている人もいらつしやるかもしれません。タノシモカフェは、誰でも参加大歓迎。地元の人と下川町に来たばかりの人の交流の場として活かしたいと考えています。毎回IP端末で場所と時間をお知らせしているので、ぜひ足をお運びください！

町内外でのイベントについて

タウンプロモーション推進部が発足して以降、頻繁に単町でのイベントを首都圏を中心に開催しています。7月におこなったイベントでは40名近くの人が集まり、イベントの参加者が後日改めて下川町を訪問して下さる事例が2件見られました。



イベントの様子



タノシモカフェ

お問い合わせ  
下川町産業活性化支援機構 タウンプロモーション推進部  
☎・☆413511  
Info@shimokawa-life.info



情報発信について

今年に入り、タウンプロモーション推進部の取り組みが北海道新聞の全国版に取り上げられました。またウェブサイトに「SMOUT（スマウト）」では日本各地の様々な地域を抑え、下川町が「関係人口ランキング第1位」になりました。SMOUTでの掲載開始以降、お問い合わせの数は100件を超えています。

「人材バンク」について

下川町内で人材を募集している事業者さんのお仕事情報がまとまっているウェブページです。「人材バンク」を開設した当初から現在まで、34人の人達が町内の様々なところで活躍されています。

「シモカワベアーズ」について

2017年から募集を始めた「シモカワベアーズ」。地域おこし協力隊制度を活用し、起業を志す人達を誘致する取り組みとして、すでに2名の人々が着々と準備を進めています。また、令和元年度採用の新しいベアーズも決まりました。12月に着任予定です。

2019年(令和元年)8月15日(木曜日) 14版 総合 ひと

### 森の寺子屋

「シモカワベアーズ」が活躍の場として活用している。元は航空機を設計する技術者の多いが、利用する人も増えている。元は航空機を設計する技術者の多いが、利用する人も増えている。元は航空機を設計する技術者の多いが、利用する人も増えている。

### マチを挙げ 移住者呼ぶ

同町の財政支援の範囲内だが、町民も積極的に参加している。同町の財政支援の範囲内だが、町民も積極的に参加している。同町の財政支援の範囲内だが、町民も積極的に参加している。

### SMOUTネット関係人口スコアランキング

1位 北海道 下川町 72.3	2位 宮崎県 椎葉村 71.2	3位 沖縄県 久米島町 69.4
4位 千葉県 館山市 67.8	5位 岡山県 真庭市 67.2	6位 北海道 猿払村 67.2
		7位 神奈川県 鎌倉市 66.6